

お部屋のインテリアにはそれぞれこだわりがあると思いますが、長年暮らしているとなんとなくマンネリ気味になりませんか。今回はコストをかけずに一枚の布だけでお部屋のイメージをガラッと変える方法をお伝えします。

【お部屋と合わせた布の選び方】

生地屋さんや大型ショッピングセンターの手芸コーナーに行くと、たくさんの布があり、迷ってしまいますね。まず、生地を選ぶ際には、部屋全体のトーンを考えてみましょう。アレンジをしたい部屋に置かれている家具は何調でしょうか。カントリー調？アンティーク調？ナチュラルモダン調？アジアンテイスト？和風？布もお部屋のトーンに合ったものを選ぶとじっくりとなじみます。たとえば明るいカントリー調のお部屋には、可愛いコットンの小花柄などが似合うでしょうし、アンティーク調ならイギリスのローズガーデンを思わせる伝統的な花柄の布がよいでしょう。ナチュラルモダンには、洗いざらしのような白やベージュに近いアイボリー色の綿・麻が自然な感じで素敵です。そして家具がアジアンテイストなら、東南アジアの民族柄のような柄がぴったり。和風のお部屋には、絣や刺し子のような柄や、あるいは着なくなった和服の布地を使っても「和モダン」の雰囲気を作れます。また、お部屋のトーンとは別に、季節感に合わせて色調から選ぶ方法もあります。春なら爽やかなグリーン系、夏なら清涼感のある白地やブルー系、秋～冬は暖かみを感じる暖色系が基本です。



【お揃いの布でコーディネート】

布が決まったら、「ソファをくるむ」や「テーブルクロスに使う」など、お部屋の中心になる大きめの家具をひとつ決め、それをくるんだり、そこに掛けたりしてみましょう。それだけで今までのお部屋とはグッと違ったイメージに見えるはず。同じお揃いの布で家電カバーにしたり、ランチョンマットにするなど、小さめの使い方をいくつか散りばめます。大きいスペース1箇所と小さいスペース数箇所にバランスよく配置することで統一感が生まれます。また、布を掛けることにより、古くなったソファなど家具の傷みもおしゃれにカバーすることもできます。そして、お揃いの布とは別に、スカーフや風呂敷などを使ってワンポイントづかいすると、インテリアのアクセントになります。クッションを包むのも簡単で面白いアイデアです。布の巻き終わりをコサージュなどで止めるのも良いですね。

【手作りファブリックパネルの簡単な作り方】



まずはメインの材料の準備します。
ファブリックパネルの土台となるカラーパネル
45cm×30cmを1枚。
木枠を作るための1.5cm角の角材、長さ90cmのものを
2本用意します。
モンステラのファブリックのみ裁縫店で購入し、
全部で占めて600円程度です。
ファブリックのサイズはパネルの幅より各辺3～5cm程度
余裕を持って用意してください。
(今回はカラボが45cm×30cmなので、
ファブリックは55cm×40cm程度のサイズになっています。)



次はいよいよファブリックを貼り付けます。
貼り付けには上の赤い「タッカー」というホッチキス
みたいなものを使用します。
これは100円ショップでも200円程度で売っている
のであると便利です。

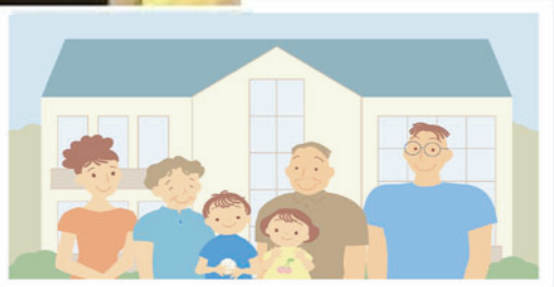


作り方はいたって簡単でカラーパネルの4辺に合わせて
角材をノコギリやカッターで切断し、
木工用ボンドでべたべたと貼り付けるだけです。
これだけでファブリックパネルの土台が出来上がります。
カラーパネルの色の付いている方に木枠を組むと
ファブリックを貼ったときに透けないで良い感じですよ。



まずファブリックの上にパネルを置いて、4辺のゆとりを
確認できたら、1辺だけきっちりタッカーで止めます。
そして角を織り込んでタッカーで打ちとめていくのですが、
この時アイロンで表からシワを伸ばしたり、
折れ目をしっかりとつけるようにすると出来上がりが
シャープな感じになります。

1辺留めたら裏返してシワを確認したり伸ばしたり
しながら、4辺全てを留めていきます。
ちょっとしたことなんですけど、留めるときは対面同士を
連続して作業しないで、
辺を回っていくようにシワを伸ばして打ち付けていくと、
変なたゆみも少なくて作業もスピーディーになる感じですよ。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp